

おわりに

この郷土室だより「学区探訪」は昭和六十二年から平成元年にかけて書かれたものです。三回に分けて発行されていますので、重複しているところなど不備な点もありますが、当時の原稿のまままとめました。

私が学区について調査を始めたのは本校赴任三年目ですが、その翌年が開校十周年の年でしたので学区調査の成果は十周年記念誌にも活かすことができました。その翌年には学区から古い農具や日常道具を集め学区文明展も催され、それを機会に校内に郷土室ができました。この郷土室だよりは、その時から発行されました。学区調査の成果は、学芸会において郷土劇となったり、日々の授業にも活かされるようになりました。伝統産業「しめ樋」や「足利尊氏石宝塔」「大門遺跡」「岡崎大橋」など社会科の授業で活用しました。

大門小学校で学ぶ子供たちにとって、この大門学区は思い出多いふるさとになることでしょう。ふるさと大門のよさについてもっと知つてもらいたいと思い、この郷土室だよりを書き始めました。学校の仕事を終えてから、夜遅く原稿を書いてたり印刷したりするのはなかなかたいへんでした。しかし、よそからの移住者が多い学区の人たちにあってもこの郷土室だよりは興味があつたようです。自分たちが住んでいる地域についてもっとよく知りたい、という気持ちからたびたび激励のお言葉や催促のお言葉をいただきました。そんな声に励まされながら何とか百十号まで書き続けることができました。取材に協力していただいた学区の方々や励まして下さった方々に心から感謝いたします。

平成二年一月二日

澤田 憲正

学区探訪
大門学区百十話



平成二年一月十二日 発行

著者 澤田 憲正
岡崎市曠町二の十

印刷 日比印刷所
岡崎市藪田一の四